

北朝鮮ミサイル発射に係る抗議声明

2月18日、北朝鮮は弾道ミサイルを日本海に向けて発射し、北海道渡島大島の西方、日本の排他的経済水域（EEZ）内に落下させたことが明らかとなった。

昨年11月18日以来となる度重なる弾道ミサイルの発射と日本EEZ内への落下は、北海道はじめ日本漁業者の操業と生活の安寧を再び打ち破り、不安と恐怖に陥れる極めて卑劣かつ野蛮な行為である。

我々JF全漁連・JFグループは、日本漁業者の安全操業と生命を脅かす北朝鮮の蛮行に対し、あらためて強く断固抗議する。

岸田文雄内閣総理大臣は直ちに北朝鮮に対し厳しく抗議するとともに、「国民に対しての情報提供」と「安全確認の指示の徹底」を関係省庁に指示された。

政府におかれては、あらゆる手段を講じて北朝鮮の蛮行を阻止し、日本漁業者の安全操業と漁村住民の安心な暮らしが維持できるよう万全の措置を講じることを強く求めるものである。

2023年2月18日

全国漁業協同組合連合会

代表理事会長 坂本雅信